

2 助成対象のまちづくり活動を行ったふりかえり

申請書に記載の活動の「目的、目標、計画」に基づきふりかえりをご記入ください。

(1) 目標達成（目標を達成できたか、達成できなかったものがあればその理由） 申請書に記載した目的「地域の多くの方々に下之一色の魅力を認識していただくこと」を実現するために、以下の活動を実施しました。 1) 地域に対する誇りや愛着を育む取組みとして、下之一色での思い出を広く募り、冊子にまとめ、「好古～わがまち下之一色思い出エピソード集～」として、10月に発刊することができました。また、2) 地域資源である「水辺」の魅力を再認識することができる取組みとして、11月に「新川 SUP 体験会」を開催しました。いずれも、当初の計画どおり遂行することができました。
(2) 活動の成果（参加者や地域住民の評価、活動を通して得られた成果など） 1) 下之一色に関する書籍は、これまでに何冊か発行されていますが、行政や地域の歴史家が作成したものがほとんどでした。今回の取組みは、地域の住民が気軽に読めるものをつくること、さらに、下之一色が活気のあった頃の地域住民の記憶を後世に残しておくこと、この二点に着目し、学区回覧による公募などにより、63名の方から心温まる思い出が届きました。冊子を手にとった地域住民から、「読んだ後、涙がでてきた」との評価をいただき、学区の歴史に残る冊子ができたと実感しました。 2) 新川は、SUPを使い実際に漕いでみると、手で触ろうと思えるくらいの透視度であることや、心が癒されるような空間が身近に存在していることがわかったことが大きな成果です。開催当日はこれ以上ない天気、非日常的な経験をした参加者は、皆、歓喜でした。
(3) 活動における工夫（活動の目標達成のために工夫した点など） 1) 地域の誇りとして、地域出身の著名人にも執筆をお願いすることにしました。経済界でご活躍された方々ですが、ご多忙にも関わらず、“地域のためなら”とご快諾いただきました。地域のつながりの賜物だと感じました。作成した冊子は、広く市民にも知っていただこうと、市内の図書館に配架しております。 2) イベント開催にあたり、委員会メンバーだけで実施すること不可能であるため、ナゴヤ SUP 推進協議会のご協力を得て、実施しました。これをきっかけに、これからも継続して、地域とゆるやかにつながっていただけたらと思っています。
(4) 活動の改善点（課題や反省点と、それを踏まえ今後の改善などを具体的に） 1) 正色小開校 150 年にあわせて、令和 5 年以内に発刊する必要がありました。63 名の思い出は十分な数字ですが、もう少し時間があれば、より多くの思い出をまとめることができたと思っています。 2) 地域の住民が水辺の魅力を感じるためには、単発で終わるのではなく、今後も継続して開催することが必要だと感じています。次回開催にあたっては、現地確認を入念にするなど、今回以上に安全な開催に気をつけていくことが今後の課題と捉えています。
(5) 次年度の活動計画（具体的な活動の見通しなど） 今回、SUP 体験会は、推進協議会のご厚意でご協力いただきました。 しかし、今後、継続していくためには、対価をお支払いして、委託することが望ましいと感じています。そこで、三回目の助成は、推進協議会への委託費を検討しています。このように段階的に活動を進めていき、最終的には、学区の資金で継続していくことができれば理想的です。
(6) 活動を進めるうえで、助成事業について改善を望むこと 特にありません。

※第 5 号様式は、2 ページにおさまるように記入してください。

※活動における実施した内容（写真やレポート、調査結果等）、経費にて作成した成果品（チラシ、冊子など配布物）を別添資料としてください。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。

まちづくり活動の実施記録

実施記録は 1 ページにおさまるように記入してください。

年	日付	活動項目	活動内容	参加者数や 印刷物の 発行部数等
冊子作成				
2023	5.23	5 月定例会 ※定例会は毎月第 4 火曜日 15 時からコ ミセンで実施	学区回覧用の紙面（思い出の公募）の 確認	20 名
2023	6.27	6 月定例会	学区出身の著名人など、生活安全委員 会から直接ご依頼する方の人選、ご依 頼方法の検討	18 名
2023	7.25	7 月定例会	冊子の更なる充実を図るために、委員 会メンバーが聞き取りを実施（特に高 齢者）して、文章にすることを確認 ※最終的に 10 名程度、聞き取りを実施。	19 名
2023	8.22	8 月定例会	冊子の更なる充実を図るために、下之 一色の懐かしい写真を後段に掲載す ることを確認	20 名
2023	9.26	9 月定例会	掲載する写真を確認 印刷部数を確定させるために、関係者 への配布数を確認	15 名
2023	10.24	10 月定例会	印刷発注したことを報告 （当月末、200 部納品）	20 名
2023	11.28	11 月定例会	思い出エピソード集の発刊を学区内周 知する紙面を確認 （執筆者への冊子配布は委員会メンバ ーが分担して実施）	18 名
新川 SUP 体験会の実施				
2023	11.23	体験会開催	※推進協議会メンバーとは、メッセ ンジャーを使用し、当日の段取りを逐 次、確認した。 8 月 29 日、11 月 23 日に開催すること を協議会へ通知した。 10 月、学区回覧にて当該企画を学区 内に周知した。	20 名

備考 用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。

まちづくり活動の決算書

1 支出

助成対象のまちづくり活動における支出をご記入ください。

費 目 手引きの費目を参照		活 動 項 目		領 収 書 番 号	金 額 (円)
① 助成対象事業支出額					98,400 円
① の 内 訳	印刷費	「好古～わがまち下之一色思い出エピソード集～」の印刷製本		1	94,000－
	物品費	新川 SUP 体験会参加者用のライフジャケットの購入（玄着）		2	2,200－
		2		3	2,200－
まちづくり活動助成金（申請金額） ※上限金額：1 回目は 5 万円、2 回目、3 回目では 10 万円					98,400 円